

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2011.08.01~08.05

記事の詳細は、情報検索サービス『キジサク』でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版

CHINA

8月1日(月)

■東レ、車部材のショールーム
上海/スケルトンカーなど展示

東レは、上海に自動車関連部材の総合ショールームを開設した。約300平方m。先端材料を搭載したスケルトンカーや繊維、樹脂、フィルム、炭素繊維、電子材料を使用した部品を展示。(10面)

「オートモティブセンター」に展示したスケルトンカー(東レ)



8月2日(火)

■三菱倉庫・JALが提携
中国・アジア物流を強化

三菱倉庫、日本航空、ジュビター・グローバル・リミテッド(日航子会社)が提携。三菱倉庫は中国・アジアの強化を狙い、ジュビターは海上貨物や、保管・配送業務の業容拡大を加速。(15面)

■中国で低層工業化住宅
大和ハウス/鉄骨構造開発

大和ハウス工業は、中国の宝業集団と共同で、中国の低層工業化住宅に適切な躯体構造として、「プレース(筋交い)式軽量鉄骨構造」をベースとした住宅商品を開発した。(15面)

ASIA

8月1日(月)

■ベトナムの原発技術者支援凍結
国際人材育成機構/首相発言で

国際人材育成機構とベトナム政府との間で進んでいた原子力発電技術者の養成事業が、菅直人首相の「原発輸出見直し」発言を受けて凍結されていることが分かった。(1面)

■清水製作所、タイ工場5倍
ホース金具月15万個

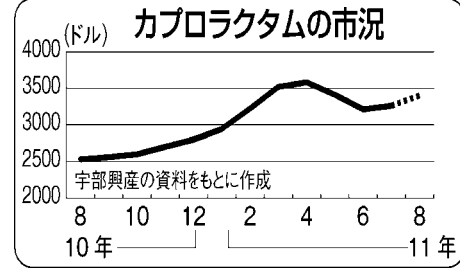
清水製作所は、タイ工場で、9月にホース金具の生産量を現在の5倍の月間15万個に引き上げる。建設機械や農業機械向け受注増に対応する。専用機を導入、加工時間は8割短縮し13秒に。(5面)

■ASEANでクラウド
NEC/共同出資会社

NECは、シンガポール・テクノロジー・エレクトロニクスとASEANでのクラウドサービス事業を推進する共同出資会社の設立で基本合意した。企業や政府公共機関に提供。(9面)

■CPL価格、反転鮮明
宇部興産/8月3450円

宇部興産は、ナイロン樹脂原料のCPLの8月のアジア向け価格を1トン=3450円で打ち出す。7月は50円高の同3260円で3カ月ぶりにプラス。5月を底に反転が鮮明になった。(10面)





スマートフォンの多機能携帯電話でフェイスブックをチェックするインド・ムンバイの大学生(ブルームバーグ)

ーキなどを製造・販売する合併会社を吉林省に10月設立する。新会社は商権や製造設備、敷地などを引き継ぐ。(3面)

■北京現代に軸受供給
GMB/量産ライン

GMBは、中国生産子会社に自動車向けベアリングの生産設備を導入する。約2億円投資。北京現代自動車から同ベアリングの受注を獲得したため、年内の量産開始を念頭に生産ライン。(5面)

■ユンシン精機、中国に新工場棟
射出成形機用取り出しロボ/月産2倍

ユンシン精機は、2012年中に京都と中国で、新工場棟を稼働する。中国は子会社に射出成形機用取り出しロボットの新工場棟を増設する。月産能力を現在の120台から2倍超の250台に。(6面)

■医療用材料10倍、100億円
JSR/中国に投入

JSRは、診断薬用樹脂製材料微粒子の海外販売を拡大する。中国はじめ新興国で普及する見通しのため、診断薬を簡単に製造できる微粒子を中国に投入する。売上高10倍の100億円を目指す。(10面)

■塩野義、香港の製薬買収
アジアの開発・販売拠点整備

塩野義製薬は、中国で製薬事業を手がける香港のC&Oファーマシューティカ

8月3日(水)

■アステラス、MR600人
計画前倒し/医療機関5000施設

アステラス製薬は、中国事業を強化する。医療情報担当者(MR)の増員計画を約3年前倒しして2011年度末に600人体制を構築。営業対象の医療機関も15年度に5000施設へ倍増する。(3面)

■アサヒ、中国2合併解消
杭州・浙江ビール/戦略に隔たり

アサヒグループホールディングスは、中国のビールメーカー、「杭州ビール」と杭州ビール子会社の「浙江ビール」の保有全株式を売却、合併を解消する。中国戦略が合わなくなった。(3面)

■中国版新幹線、時間通り88%
北京-上海/現地紙

中国紙・新京報は、開業から1カ月が

インド側が譲許した主な品目		
品目	基準税率	交渉の結果
●自動車部品		
バンパー	10%	10年撤廃
消音装置(マフラー)	10%	10年撤廃
ディーゼルエンジン	12.5%	6年間で5%まで関税削減
ギアボックス	12.5%	8年間で6.25%まで関税削減
●鉄鋼製品		
熱延鋼板	5%	5年撤廃
冷延鋼板	5%	5年撤廃
合金鋼	5%	5年撤廃
●電気電子		
リチウムイオン電池	10%	10年撤廃
DVDプレーヤー	10%	10年撤廃
MP3プレーヤー	5%	5年撤廃
●一般機械		
ブルドーザー	7.5%	10年撤廃
産業用ロボット	7.5%	10年撤廃
エアコン部品	10%	10年撤廃

出典：経済産業省

■日印EPA発効
製品で戦略に差/効果限定的

日本とインドの経済連携協定(EPA)が1日発効。往復貿易額の約94%に相当する品目の関税が今後10年間で撤廃される。経済効果は「限定的」との見方も。取り扱い製品によって差。(18面)

8月2日(火)

■味の素、ベトナムで医薬品
タイ・インドネシアにも進出

味の素は2012年にも医薬品事業でベトナムに参入する。子会社が現地法人を設立、医療用に独自の開発製品を自社の販売網で手がける。タイやインドネシアへも進出する。(1面)

■サービス産業の海外進出支援
アジア軸に相談員/ジェトロ

ジェトロは、サービス産業の海外進出支援を強化する。10月までにアジアを中心に事務所13-16カ所に、現地の不動産情報に詳しい相談員を新たに配置し、進出の問い合わせにアドバイス。(3面)

■フタバ産業、インドネシア工場
自動車ボディー部品

フタバ産業は、インドネシア・プカシ県に自動車用ボディー部品の工場を建設し、2012年9月に稼働する。トヨタ自動車やダイハツ工業の増産に対応。中国と北米に地域統括会社を設立。(5面)

■エンシュウ、タイでMC増産
25%増/車部品から引き合い増加

エンシュウは、10月をめどにタイで立型マシニングセンター(MC)の生産を25%増の月産25台に引き上げる。タイ工場の床面積を約25%拡張する。自動車部品メーカーから引き合い増加。(7面)

■タイに小型プリンター販社
スター精密/東南アジア強化

スター精密は、東南アジアの営業体制強化のため9月にタイ・バンコク市に小型プリンターなどの特機事業の販売子会社「スターマイクロシステムズサウスイーストアジア」を設立する。(7面)

■家電制御を実証
パナソニック/シンガポール標準団地

パナソニックは、シンガポール政府機関と共同で、各家庭内の家電制御まで含めたエネルギーシステムの実証を2012年から始める。シンガポールで標準的な団地1棟(約100世帯)が対象。(8面)

■希少コーヒー豆を提供
フィリピン・カンボジア産/日本開拓

フィリピンのグリーントロピックスやカンボジアのスリー・コーナーといった珍しい原産地のコーヒー豆が注目される。希少価値の高い製品として日本への輸出を目指す。(12面)

■繊維の技術で通信分野開拓
木曽川商工会/ベトナムで見本市

木曽川商工会は、繊維を織る技術を活用した通信ケーブルや電磁波吸収材の事業化に乗り出す。2012年度にベトナムで同製品の見本市を開催。現地の電機関連メーカーに売り込む。(23面)

経過した北京と上海間を結ぶ高速鉄道(中国版新幹線)について、時間通りに目的駅に到着した割合は88.5%だったと報じた。(時事=3面)

■中国で北米向けタイヤ生産
東洋ゴム/トラック・バス用

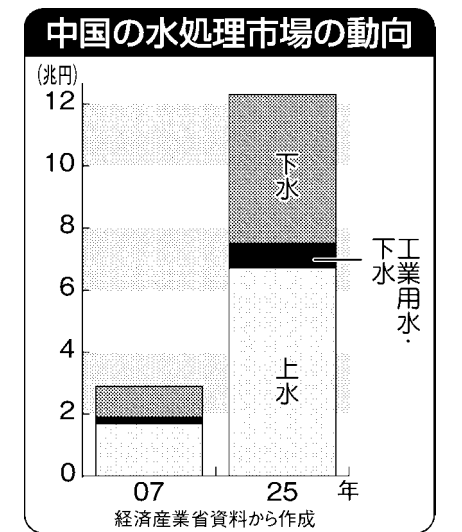
東洋ゴム工業は、6月に買収した中国タイヤメーカーに設備投資を実施し、早ければ9月にも「TOYO」ブランドの北米向けトラック・バス用タイヤの生産を始める。(5面)

■米キャタピラー、中国に工場
油圧ショベルの車台部品

米キャタピラーは、中国で油圧ショベルの車台部品を製造する工場を新たに建設する。中国やアジア・太平洋での長期的な需要に対応し、同地域の市場向けの供給能力強化。(時事=7面)

■クボタ、プラント建設の壁突破
水処理エンジニア/現地企業と合併

クボタが中国企業と水処理エンジニアリング会社を立ち上げ、現地でプラント建設事業に進出する体制を整える。プラント建設への進出は入札資格など高い障壁があるため現地企業と連携。(11面)



■ヤクルト、天津で生産開始
日産146万本/華北・東北に供給

ヤクルト本社は、天津の工場で3日に乳酸菌飲料「ヤクルト」の生産を開始。設備を増強し、1日146万本を生産する

8月3日(水)

■参天製薬、インドに現法
眼科薬/開発・製造を視野

参天製薬は、インドに現地法人「サンテン・インド」を7月29日付で設立。当面はブランド浸透を図り、眼科薬での事業機会を探る。将来は開発や製造も含めた現地での事業を視野に。(3面)

■アイカ工業、ベトナムに事務所
化粧板・塗り床材/市場開拓

アイカ工業は、ベトナム・ホーチミン市に駐在事務所を開設、営業を始めた。空港などの社会インフラ整備や外資の工場進出で、化粧板や塗り床材など建設資材の需要が旺盛な市場を開拓。(13面)

8月4日(木)

■積水化学、印で車用樹脂成形
2工場/生産2500トン

積水化学工業は、インドで2輪・4輪車向け樹脂成形事業を始めた。現地射出成形メーカーと合併会社を設立。ニューデリー近郊で2工場を稼働した。生産能力は年2500トン。(2面)

■東洋ゴム、マレーシア新工場
年産500万本/アジアへの輸出拠点

東洋ゴム工業は、マレーシアに乗用車用タイヤの新工場を建設する。約200億円投資。2013年に年産能力250万本でスタートし、15年度に同500万本まで倍増させる。アジアへの輸出拠点。(3面)

■象印、タイに新工場
年産1500万本

象印マホービン は、ステンレス魔法瓶の生産増強のため新工場をタイに建設する。2012年1月に稼働する。2014年度に年産能力を現在の約2倍となる1500万本へ引き上げる。(3面)

■ロート製薬、ベトナム増産
点眼薬1.5倍

ロート製薬は、ベトナムで一般点眼薬の増産体制を整えた。既存ラインの4倍の生産能力を持つ自動生産ラインを増

体制を整える。華北・東北地方への商品供給能力を向上。(13面)

■秋田大など10者が参加
上海のメッキ支援施設構想

ワイピーシステムが、上海市で進めるメッキ支援施設構想に、メッキ関連企業や秋田大学など約10者が中核メンバーとして参加する。施設は「日中メッキ産業の技術・ビジネス交流拠点」。(21面)

8月4日(木)

■武漢に「日本企業団地」
2013年初/33万㎡

武漢市で日本企業専用の工業・技術開発団地プロジェクトが動き出した。2013年初入居。国家級開発区の東湖高新技術開発区の第2期、東京ドーム7個分(33万平方m)のシスプロが運営受託。(1面)

開発が進み近代的なビルが立ち並ぶ「東湖高新技術開発区」(武漢市)

■中国の商談展に日本パビリオン
能率協会/出展受付

日本能率協会は、2012年4月11日から中国の深圳で開催される電子部品商談展「中国電子展2012」の会場内に日本パビリオンを開設する。11月30日まで出展の申し込みを受け付ける。(5面)

8月5日(金)

■部品製造合併を子会社化
UDトラックス

UDトラックスは、プレス工業から中国におけるトラック部品製造合併「普利適優迪車橋」の株式の一部を買取り、連結子会社化。UDの親会社・ボルボとアジアで効率生産体制を築く。(3面)

■中国の商談展に日本パビリオン
能率協会/出展受付

日本能率協会は、2012年4月11日から中国の深圳で開催される電子部品商談展「中国電子展2012」の会場内に日本パビリオンを開設する。11月30日まで出展の申し込みを受け付ける。(5面)

8月5日(金)

■特許侵害訴訟で和解
浜松ホトニクス/韓国企業と

浜松ホトニクスは、韓国の設備機器メーカーのソングハイテクによる特許侵害に対する損害賠償請求訴訟で和解が成立。液晶パネルへのホコリを防ぐ静電気を除電する軟X線除電装置。(3面)

■ファミリー店舗でCO2削減調査
タイ・ベトナム/パナソニックなど

パナソニック、ファミリーマート、NTTデータ経営研究所は、ファミマのタイ、ベトナムの店舗を使い、パナソニックの設備機器やグリーンIT技術を導入したCO2削減を調査。(15面)

8月5日(金)

■フライパンの製造合併
ダイヤアルミ/ベトナムに集約

ダイヤアルミは、9月1日付でベトナムに家庭用フライパンなどのアルミ鋳造製品を生産する現地法人を設立する。生産拠点をベトナムに集約する。生産コスト削減が狙い。(5面)

■JFEMメカニカル、越に新工場
プラント向けタンク/年産5000トン

JFEMメカニカルは、2013年4月をめどにベトナムで、プラント設備向けタンク類や機械部品などを生産する。約4億円を投じてドンナイ省に新工場を建設。年産能力は5000トンの計画。(10面)

■高精度検査機、インド参入
ミューチュアル/製薬向け

ミューチュアルは、インド市場に参入する。まず高精度検査機を輸出品。年内にも現地企業と代理店契約。契約先の販売網や営業力を生かし現地製薬会社を中心に提案し、初受注を狙う。(11面)

■印に販社、中国には支店
ニチコン/コンデンサー需要開拓

ニチコンは、インド・ベンガルール市

■豊和工業、天津に拠点
自動車・電子部品業界向け機械設備

豊和工業は、天津市に製造・販売会社を設立した。自動車や電子部品業界向け機械設備や関連部品の設計・製造や据え付け、アフターサービスを提供する。設備の自動化ニーズに対応。(10面)

■中堅の情報サービス、中国開拓
拠点新設・増員相次ぐ

中堅の情報サービス各社が中国事業を強化する。トランスコスモスは大連と蘇州の業務受託(BPO)拠点をそれぞれ約500人まで増やす。内陸部にBPO拠点の新設も検討する。(13面)

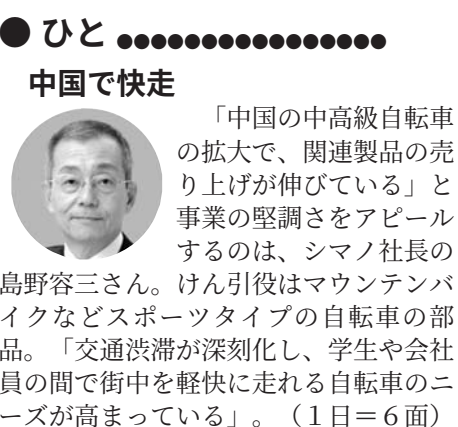
BPO拠点を増員する(トランスコスモスの蘇州オフィス)

■対中販売戦略の立案者を育成
城西大/大連で企業の社員研修

城西大学は、ビジネスマンに、10月から大連市で研修プログラムを始める。大連理工大学で4週間、経営学修士(MBA)の講義を受ける。中国市場で販売戦略を立案できる人材を育成。(27面)

ひと

中国で快走



「中国の中高級自転車」の拡大で、関連製品の売り上げが伸びている」と事業の堅調さをアピールするのは、シマノ社長の島野容三さん。けん引役はマウンテンバイクなどスポーツタイプの自転車の部品。「交通渋滞が深刻化し、学生や会社員の間で街中を軽快に走れる自転車のニーズが高まっている」。(1日=6面)

今回はー

15日(月)は新聞休刊日ですので、「中国・アジアダイジェスト」面の今回は22日(月)に掲載します。

に販売会社を11月設立する。デジタル家電などコンデンサー需要を開拓。中国内陸部の成都、重慶に現地販社の支店を設置、日系の内陸部進出に対応。(12面)

■ベトナム揚水発電を調査
Jパワー/基本設計・工事費

Jパワーは、ベトナムで揚水発電の実現可能性を調査。南部で計画されているドン・ズオン揚水発電とニウ・ソン揚水発電を対象に、開発計画の策定や基本設計、工事費などを算定する。(15面)

■シモンズ、アジア出店加速
インド2倍、タイ出店再開/中国1.5倍

シモンズは、アジアでの店舗展開を加速する。インドは2倍の6店舗、タイで出店再開。最重要マーケットの中国では、3年以内に現在47ある店舗数を1.5倍、売り上げを2倍に増やす。(17面)

TELOP

■韓国ウォン建て送金
西日本シティ銀行(2日23面)

■痛風治療剤韓国で発売
帝人ファーマ(4日15面)

■ポスコに発電設備出荷
川重/2万9700kW(5日11面)

ひと

安定供給、国際ネット築く



世界のエネルギー産業のハブを目指すシンガポール。10月に「国際エネルギー週間」を開く。エネルギー市場局ミランダ渉外担当部長は「中東や北アフリカ情勢が不安定な中で、エネルギーを妥当コストで安定供給するためには国際的な協力や対話が必要」。(1日=18面)

ものづくりビジネスに関するお役立ちコンテンツを集めた
日刊工業新聞社が運営する情報サイトです。

特集 チャノベル

読み物 チャノベル

教育イベント チャノベル

専門・技術 チャノベル

地域 チャノベル

モノづくりチャンネル

http://mono-ch.nikkan.co.jp/m/

mono-ch@nikkan.co.jp